

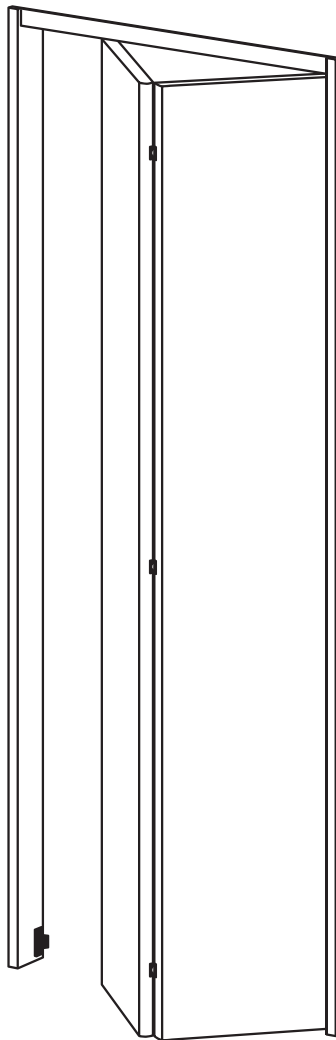
miratap

建具

テゴークロゼット折れ戸

組立設置説明書 04-TGL04S-05

設置前に、この組立設置説明書と商品同梱の各説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
本体や機器に付属の取扱説明書は、設置完了後にお客様にお渡しください。



●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害、物損)に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。



禁止



実行



注意

お守りいただく内容を上の記号で区分し、説明しています。



警告

「死亡または重傷を負うおそれがある」内容



本商品は室内専用です。

屋外や浴室などの水がかり部分や他の用途へのご使用はおやめください。



扉や枠セットの保管は、湿気や直射日光の当る場所を避けてください。また、立てかけた状態での保管は、やめてください。保管状態が悪いと、反りやねじれの原因となります。



枠を躯体へ取付ける際は、水準器・下げ振り等で必ず水平・垂直になっているか確認してください。



施工後は、キズや汚れを防ぐために、ダンボール等で養生してください。



枠をコンクリートやモルタルに直付けしないでください。

やむを得ず直付けする場合は、枠材木口と下地面の間に、必ず防水処理をしてください。



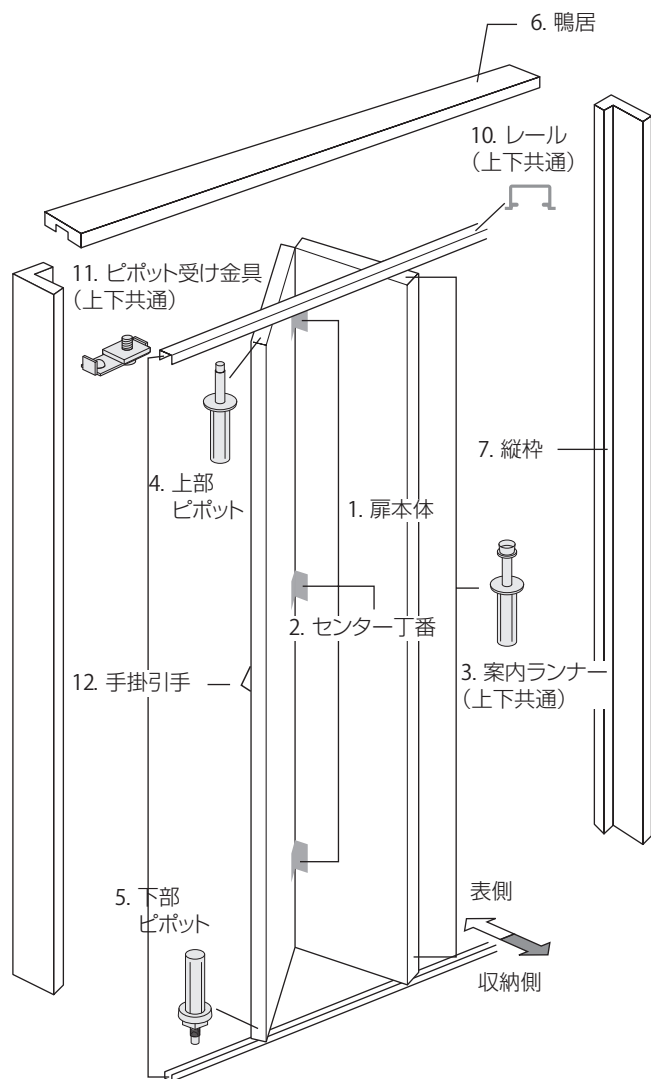
扉や枠が汚れている場合は、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を浸し、かたく絞って拭き、乾いた布で拭取ってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。変色・変質のおそれがあります。



枠の組立てには、同梱のねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂れ下がり・ゆがみなどの原因となります。

1 全体図

《固定枠》



《その他》

番号	名 称	数 量
13	組立設置説明書・取扱説明書	各1

《現場手配》

番号	名 称	数 量
14	スパナ ※12mm/10mmのスパナが必要です。 	1

※必ずお施主様にお渡しください。

《扉》

番号	名 称	数 量								
		W 735	W 820	W 1190	W 1320	W 1645	W 1820	W 2450	W 2713	W 3256
1	扉本体	1	1	2	2	2	2	3	3	4
2	センター丁番 (扉に取付済)	3	3	6	6	6	6	9	9	12
3	案内ランナー (戸先へ取付・ 上下共通) 	2	2	4	4	4	4	6	6	8
4	上部ピボット (吊元側) 	1	1	2	2	2	2	3	3	4
5	下部ピボット (吊元側) 	1	1	2	2	2	2	3	3	4

《枠》

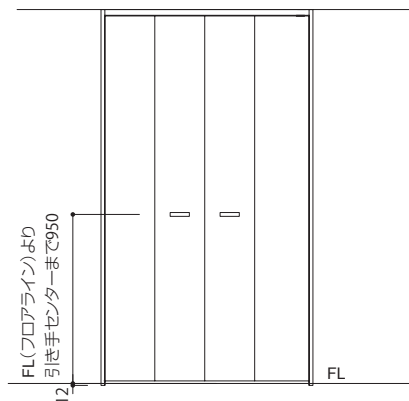
番号	名 称	扉固定タイプ									
		W 735	W 820	W 1190	W 1320	W 1645	W 1820	W 2450	W 2713	W 3256	
6	鴨居	1									
7	縦枠	2									
8	枠組立てビス φ4.0×50 	4									
9	施工用ビスセット										
	樹脂キャップ、 ワッシャー 	8									
	枠取付ビス φ4.0×50 	11	12	13	13	14	15	17	18	20	
10	レール(同梱) (上下共通) 	2									
	上レール用 取付ビス φ3.5×32	3	4	5	5	6	7	9	10	12	
	下レール用 取付ビス φ3.5×16	3	4	5	5	6	7	9	10	12	
11	ピボット受け金具 (吊元へ取付・ 上下共通) 	2	2	4	4	4	4	6	6	8	

《引手》

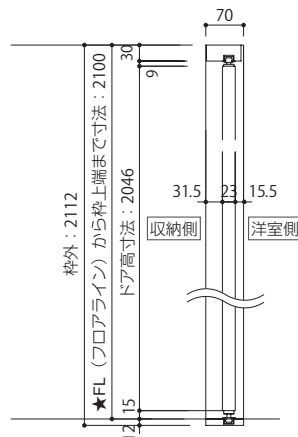
番号	名 称	数 量
12	手掛引手	1 (扉1折につき)

2 寸法図

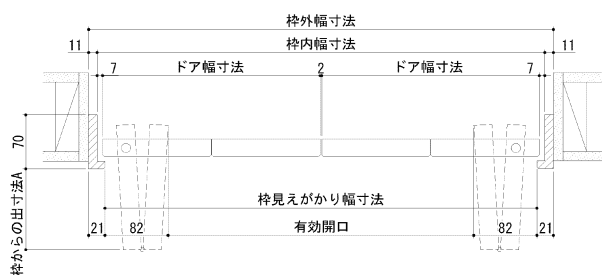
《正面図》



《縦断面図》



《横断面図》



	1枚		2枚			3枚		4枚
	W	W	W	W	W	W	W	W
ド ア 幅 寸 法	735	820	1190	1320	1645	1820	2450	2713
枠 内 幅 寸 法	699	784	1168	1298	1623	1798	2428	2691
枠 外 幅 寸 法	713	798	1168	1298	1623	1798	2428	2691
見えがかり枠内幅寸法	693	778	1148	1278	1603	1778	2408	2671
扉の枠からの出寸法A	292	333	232	264	343	386	343	386
有 効 開 口 寸 法	611	696	984	1114	1439	1614	1726	1814

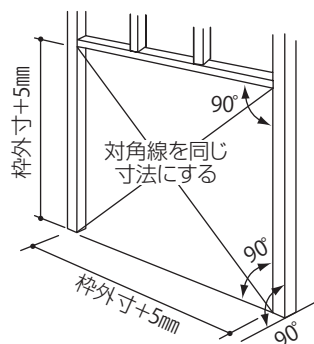
3 準備

- 梱包を開けて部品を確認してください。
- 扉は上吊り式です。まぐさは必ず強度のある梁から、吊束又は吊りボルトで補強してください。梁が弱いと上枠が垂れ下がり、扉がスムーズに開閉できません。
- 開口部の幅・高さの寸法を十分に確保してください。

	3尺間口以上	4.5尺間口以上
梁の断面寸法	105×105mm以上	105×180mm以上

- 下枠・沓摺が必要な場合は現場手配ください。
- 柱の垂直、床・まぐさの水平を、下げ振り・水準器でよく確認してください。垂直、水平がでない場合、下記の原因となります。

図のようなことがあった場合、扉が閉まらないことがあります。

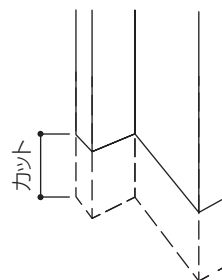


4 施工の前に

枠を床下に埋めこまない場合は枠下端をカットしてください。

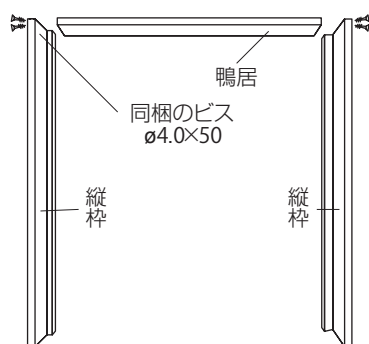
枠を床下に埋めこむ場合は枠下端を床厚さに合わせてカットしてください。

詳細は寸法図を確認してください。

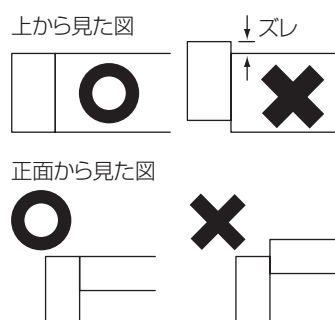


三方枠を組み立ててください。

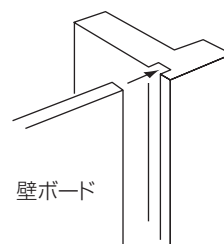
※同梱のビスをご使用ください。



※縦枠、控壁と鴨居にズレがないことを確認してください。



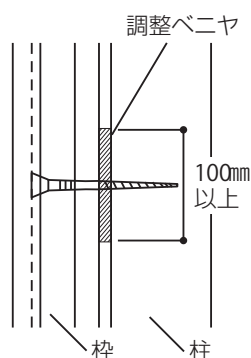
固定枠・薄壁枠の場合は、必要に応じて枠の裏側に壁ボードの溝加工を行なってください。



5 施工手順

《開口部への枠の取付》

① 枠を固定する際は、枠取付ビスの部分に木工ボンド（現場手配）を塗った調整ベニヤ（幅＝柱幅程度 × 高さ＝100mm以上）を入れてください。

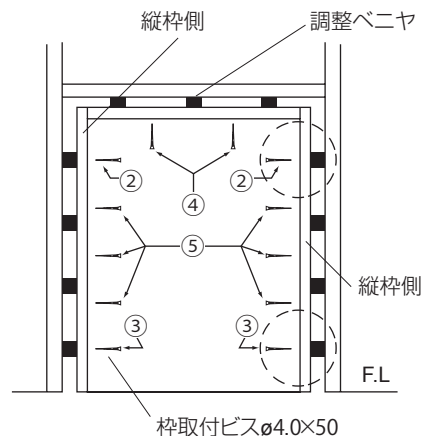


手順②③④⑤部分の調整ベニヤは左図のように入れてください。

② 枠を開口部にはめこんで縦枠側の上部を枠取付ビスで仮固定してください。

③ 下げ振りを使って垂直をだしてから、縦枠の下部を枠取付ビスで仮固定してください。

④ 水準器で上枠の水平を見ながら鴨居を枠取付ビスで仮固定してください。



調整ベニヤを入れないと、枠がぐらつき、壁と枠の間にスキマが発生する恐れがあります。

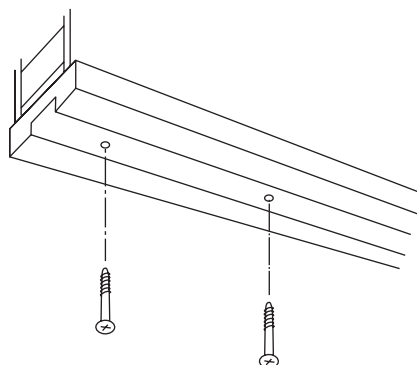
⑤ 調整ベニヤを入れて、枠の前後、左右のたわみがないことを確認後、仮固定したビスおよび残りの枠取付ビスで本固定してください。



枠の水平・垂直を必ず確認してから取り付けてください。
扉が閉まらない原因となります。

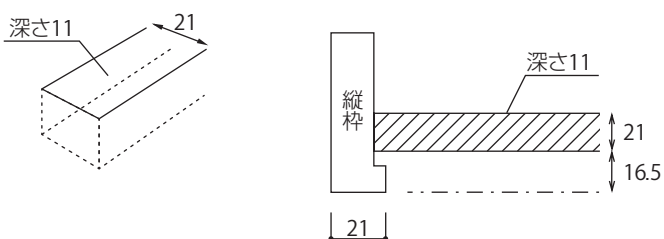


鴨居は同梱の枠取付ビスでリード穴から固定してください。



6 床の溝加工

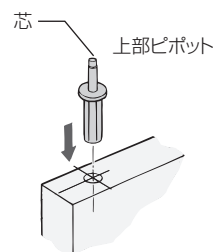
※掘込溝の位置は縦枠の仕上り寸法から追い出して加工位置を決定してください。



7 金具の取付け

《戸に付ける金具の取付け》

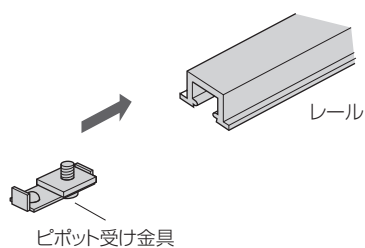
- ①戸に加工した穴に、下部ピボット、上部ピボット、案内ランナーを挿入します。



ピボット挿入時に芯をハンマーなどでたたかないでください。

《レールの取付け》

- ①上下のレールを取り付ける前に、ピボット受け金具をレール内に挿入しておきます。
②それからレールを取り付けてください。

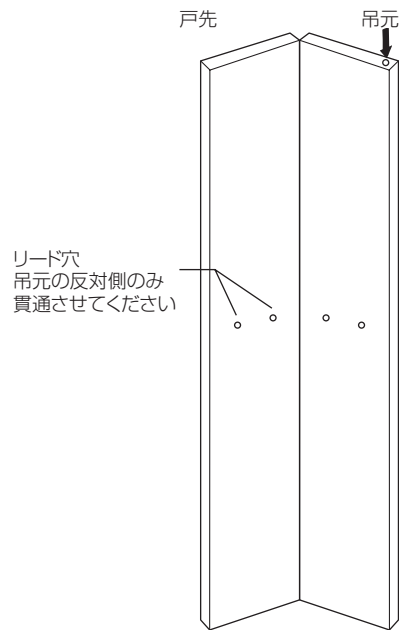


《取手の取付け》

- ①扉の吊元を確認してください。
- ②扉の裏側に取手のリード穴が開いているので吊元の反対側のリード穴を貫通させ、取手を固定してください。



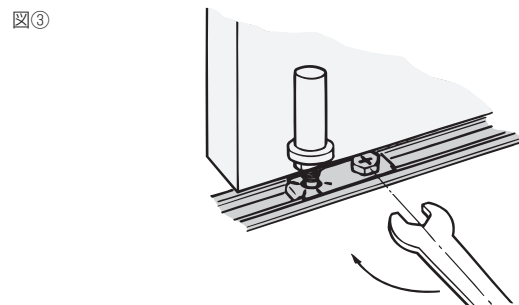
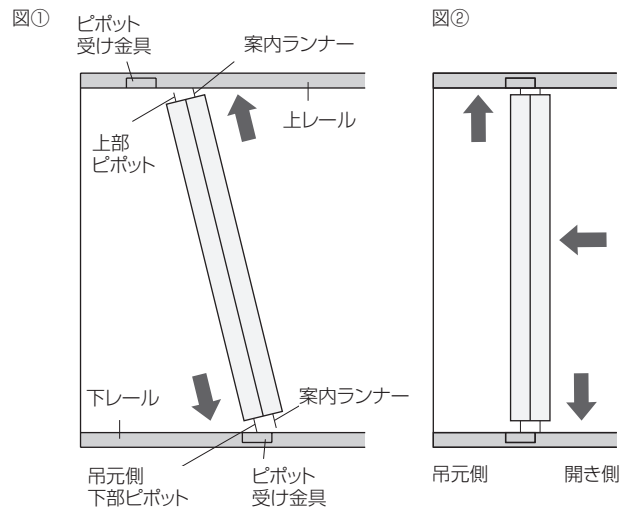
取手は扉1枚に対して1個付属しています。



8 戸の吊込み

《戸の吊込み》

- ①戸に加工した穴に、下部ピボット、上部ピボット、案内ランナーを挿入します。
- ①ピボット受け金具はレールに固定しないでフリーの状態にして、図①のように、上下の位置をずらしておきます。
- ②戸を傾けて、下部ピボットを下のピボット受け金具に、次に上の案内ランナーを上レールに入れます。(図①)
- ③図②のように、戸を垂直に立てていきながら、上部ピボットを上部のピボット受け金具に、下の案内ランナーを下レールに入れます。
- ④吊元位置を定位置まで移動させ、最後に上下のピボット受け金具をスパナでしっかりと固定してください。(図③)

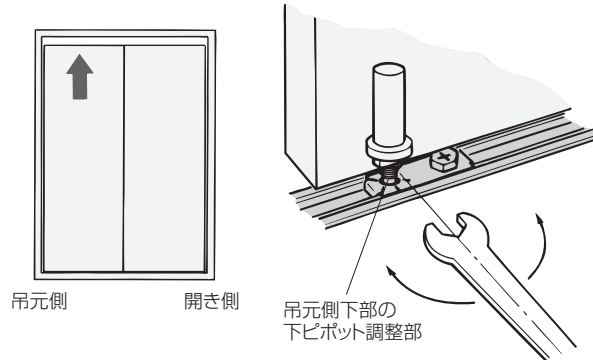


9 戸の位置調整

戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたりしている場合

➡下部ピボットで、上下調整をしてください

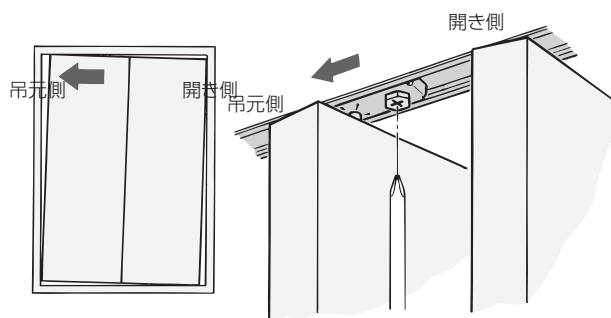
①戸を閉めた状態のまま、下部ピボットの調整部をスパナで回していけば、戸が上下します。



戸が傾いていたり、左右どちらかに寄り過ぎていている場合

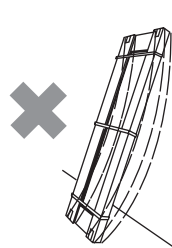
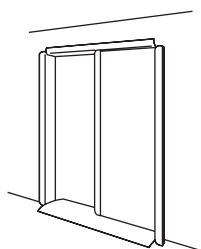
➡ピボット受け金具で、左右調整をしてください。

①例えば戸が図のように傾いている場合は、上のピボット受け金具を吊元側に寄せ、下のピボット受け金具を開き側に寄せて調整します。



10 養生

工事が完成するまで扉・枠をダンボールなどで養生してください。その際、養生テープを枠・建具に直貼り使用すると、表面シートが剥がれる事がありますので、直接貼らないようにしてください。金具は布・ミラーマットなどで養生してください。



※扉は壁に立てかけて保管しないでください。反りの原因になります。
※扉は梱包材に再度入れ、平積み保管してください。

miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

●お客様相談センター

受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。

<https://www.miratap.co.jp>

TEL: 0120-468-838

FAX: 0120-382-096

